

専門農協が担う資源循環型畜産経営の要としての役割

(奈良県：畜産農業協同組合肉用牛事業部)

取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
			○		

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- ・所在地 : 奈良県大和郡山市
- ・代表者 : 代表理事組合長 竹田 芳弘
- ・稲わら収集延べ面積 : 140ha
- ・出役者数 : 7名 (R4.2時点)
- ・HP等 : <https://www.chikusan.or.jp/>



レーキによる稲わら収集

<取組について>

○ 概要

- ・平成27年から、米を収穫した後に水田にすき込みされていた稲わらを家畜飼料として有効活用。
- ・畜産堆肥はほ場に還元し資源循環型畜産を推進。
- ・取組開始時は補助事業を活用して稲わら収集活動を支援（平成27年国産粗飼料増産対策事業）。
- ・県単事業では堆肥散布活動を支援。

○ 成果

- ・5年間で延べ140haのほ場からの稲わら収集及び延べ7haのほ場への堆肥散布を実施。
- ・平成30年度以降は補助事業に頼らない自立した運営を実施。
- ・県域の資源循環型畜産経営の要として活躍。

